

中国ブロックYEG通信

2号

ニュース

中国ブロックYEG 第2回役員会・第2回交流委員会

2019年6月29日(土)山口県山陽小野田市厚狭地区複合施設に於いて、第2回役員会・第2回交流委員会が山陽YEG担当で開催されました。交流委員会では次年度の募集や運営を円滑にするための、委員会規定案について説明を受けるなどそれぞれのグループの進捗を全体で確認した後、それぞれのグループに分かれて活発な協議ができました。

委員会終了後は役員会・交流会に分かれて懇親会も開催され、更なる交流を図ることができました。

また、役員会の皆様は山口県でゴルフや観光を楽しみ、地域に理解を深められたそうです。

記事: 山崎早緒吏(下関YEG)



中国ブロックYEG 第3回役員会・第3回交流委員会

● 第3回役員会開催

2019年8月30日(金)鳥取県倉吉市に於いて、第3回役員会が開催されました。運営予算の見直し、規約の変更、創立20周年事業や委員会規定について、また次年度の会長選任について協議されました。懇親会は交流委員会と合同で開催、鳥取県ならではの新鮮な魚介類が並び、巨大な船盛の登場で歓声が沸きスタート。北中鳥取県連会長による佐々木会長に捧げる歌がギターを生演奏と共に披露され会場を盛り上げました。また倉吉YEGによるバンド演奏や各県連会長を筆頭に各県連の報告をする時間も設けられ、終始活気のある懇親会となりました。

● 第3回交流委員会開催

同日、同会場に於いて、第3回交流委員会が開催されました。各グループにわかれ、広報、運営、委員会規定、会員増強についてなど話し合われました。交流委員会スタートして5か月、すっかりメンバーとも打ち解け、それぞれの県連や単会の話、YEGの事業について、仕事や我が地域について話し合うことも増えてきました。また山城委員長による、委員会メンバーとサシ飲みも着実に進捗している模様。距離に阻まれて遠く感じていた中国ブロックも、交流委員会の絆で身近に感じられるようになってきました。

記事: 山崎早緒吏(下関YEG)



役員会・委員会を支えた裏方さん①

- ◆生年月日、身長、体重、血液型
昭和57年8月4日 170センチ 72kg B型
- ◆単会内の役職: 統括副会長
- ◆事業所名
山陽小野田市議会議員
(株)ミライエサポート代表取締役
- ◆YEG入会歴: 平成24年
- ◆中プロに対する想い、ご意見
同規模の単会の有志を今後の活動に参考にしたい。全力で応援します。



伊場勇君 (山口県連山陽YEG)

- いば いさむ
- ◆夢、希望など
自分にしかできないことを見つけ実行すること
- ◆中プロメンバーにPRしたいこと(個人として、山陽YEGとして)
一般の方から約1600万円集まる市民参加型の花火大会!
本年は10/26開催の「第22回お祝い夢花火」には是非お越しください。
- ◆山陽小野田市のおすすめスポット、グルメ、自慢など
おすすめ事業「お祝い夢花火」
お勧めスポット ケンミンショーでも紹介された埴生地区の貝汁

記事: 山下鉄旨(山口YEG)

中国ブロックYEG通信

2号

交流のヒント 人物紹介

①日本商工会議所中国ブロック青年部連合会20周年実行委員長
元部隆富君(岡山県連津山YEG)

もとべ たかとみ

- ◆生年月日:1977年5月20日(42歳)
- ◆YEG歴:平成21年4月入会(残年数3年)
- ◆事業所名:株式会社CREAR
株式会社パルカ
- ◆役職:代表取締役



◆仕事内容・想い

建築の設計事務所と婚活支援の会社を経営しています。設計事務所は福祉施設、店舗、工場、住宅等の設計監理、特殊建築物の定期報告調査等、婚活支援の方は結婚相談、お見合い、各種カウンセリングを行っています。ともに若い会社ですが、地元津山の発展と共に会社も進歩していけたらと思います。

◆青年部・中国ブロックとは
一言で言うと仲間作りの場

仕事においてもプライベートでも多くの仲間と出会い、ネットワークを構築してYEGに入会していなければ経験できないことを与えてくれる。それを活かすのは自分次第だとは思いますが。

中国ブロック商工会議所青年部創立20周年開催情報

日時:令和元年12月8日(日)

場所:津山鶴山ホテル

記念式典 15:00~16:11

祝賀会 16:30~18:30

◆津山のオススメ

津山はなんといっても肉です。津山のどこの店で食べてもおいしい。よめなかせ、がり、そずりなど他の地域では食べれない部位の肉も食べれます。また城下町津山には銘菓もたくさんあります。中国ブロックの20周年で津山にお越しいただく際はぜひ津山の肉を食べて帰ってください。

お土産の銘菓には大文字、二次会にはclub qoo、Dolcelにお立ち寄りください。



よめなかせ



そずり



干し肉

◆20周年への想い

記念式典・祝賀会が単独で行われるのは20周年が初めてです。今まではブロック大会に

組み込まれて行われていたそうです。中国ブロック青年部連合会の歴史に少しでも触れて

いただき、これからの中国ブロック青年部連合会の未来を語る場が津山になればうれし

いことです。ぜひ1人でも多くのメンバーで津山に来てください。お待ちしております。

記事:西本 真司(岡山YEG)

役員会・委員会を支えた裏方さん②

- ◆生年月日:昭和54年8月17日
- ◆青年部歴:平成25年8月入会
- ◆倉吉YEGのアピールポイント
例会参加率も平均して80%前後を維持しており、真面目な会員が多いです。60名弱の単会ではありますが、事業に対しての一体感のある動きを取れる単会です。



卒会年齢が49歳なので年季の入った意見を述べられるベテランが多く在籍しています。

廣戸知行君(鳥取県連倉吉YEG)

ひろと ともゆき

◆来年度中プロ主幹単会として

倉吉は何か圧倒的な集客力のある施設があるわけではありません。

ですが、面白い人・真面目な人・人情味のある人など様々な「人」がいます。

この倉吉の「人」に会いに来てください！多くの皆様をお迎えすべく、倉吉YEGは鋭意準備に取り組んでまいります。



仕事中の廣戸さん

記事:山下鉄旨(山口YEG)

中国ブロックYEG通信

2号

中国ブロック大会江津大会を楽しもう

佐々木ブロック代表理事にきく！江津のおすすめスポット

●江津本町

昔、江の川と日本海の高瀬の要所として栄えたまちで、その面影が今なお残る。石州瓦の赤い屋根が続く家並みを見ながらゆっくり散歩するのはオススメ。

●有福温泉

有福温泉は1350年以上の歴史を持つ温泉で「美人の湯」としても知られています。昔は温泉地として芸者さんがいるほど栄えていましたが、数年前の水害や火事の影響もあって、今は旅館も数件に減っていますが、人気の温泉街と違うその雰囲気も人気のポイントになってリピーターも多い。外湯もあるので、気軽に温泉が楽しめます。



源泉かけながしの温泉
有福温泉

島根県江津市有福温泉町710
駅前通TEL / 0855-56-3353
1100円で温泉に楽しめる公共浴場「駅前湯」は昔から親しまれた源泉かけながしの美人の湯。神楽館では石見神楽定期公演も楽しめます。詳しくはWEBをご覧ください(QRコードからWEBへ)
<https://gotsu-kanko.jp/gotsuonsen/arfuku>



●しまね海洋館

「アクアス」言わずと知れた中国地方最大級の水槽を持つ水族館です。人気はやはりシロイルカとペンギン。シロイルカは、水槽からこちらがわかるらしく、手を振ると応えてくれてハッピーな気分になれます。

シロイルカの幸せのバブルリング！

島根県立しまね海洋館アクアス

島根県浜田市久代町1117番地2
TEL / 0855-28-3900
営業 / 9:00～17:00(入館は閉館の1時間前まで)
※7/20～8/31までは9:00～18:00
定休日 / 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)
※GW、夏休み、年末年始、春秋のみは無休
入館料 / 大人1,540円、小・中・高校生510円

楽しいパッケージツアーなど盛りだくさん

●パッケージツアー、わんぱく探検隊、みんなの知らないアクアスツアーなど楽しい体験イベントが開催されています！
ツアー詳細、お申込はWEBをご覧ください
<https://aquas.or.jp/event>
(QRコードからWEBへ)



●通称：風の谷

ジブリのナウシカで知られている風の谷ですが、その相性で呼ばれる場所があります。浅利町にあるポイントなのですが、そこから見える海岸線と白浜にならぶ風車(風力発電)、そして赤瓦のまちなみは、確かに風の谷を彷彿させます。沢山の方がカメラを片手に来られる江津の隠れ観光ポイントです。



●日本海の夕日

観光スポットに入れて良いのかもわかりませんが、日本海に沈む夕日は、本当に綺麗です。田舎だからこそですが、忙しい時間が虚しく感じるほど、ゆっくりと沈む夕日と海、空のグラデーションの美しさは、生きていることを実感させてくれます。

●お土産 じばさん

石見地方の特産品でもある「石見焼」が販売されています。舞乃市：石見地方のお土産が勢揃いしています。神楽グッズもあるのでオススメ！

江津の特産品はこちら！
江津市地場産業振興センター
島根県江津市嘉久志町イ405
TEL / 0855-52-0600
営業 / 9:00～17:00
定休日 / 年末年始

江津からすぐ、石州和紙や石見焼など石見地域を代表する伝統工芸品の他、特産品を多数販売しています。車載観光のお土産購入にぴったりです。毎年3月には地場産まつりを開催。

1分でわかる！石見神楽とは？ いわみかぐら

◆大懇親会アトラクション(出演:市内社中合同)◆

石見神楽は島根県西部石見地方に伝わる伝統芸能であり、豪華絢爛な衣装や勇壮な舞、小気味良い囃子の特徴とし、石見地方では秋祭りや各種イベントなど年間を通して上演される石見地方特有の神楽である。

起源については諸説あるが、室町時代には既に演じられており、江津市桜江町一帯に伝わり1979年に国の重要無形民俗文化財に指定された大元神楽がその起源と言われている。古くは神職によって奉納される神事であったが、明治時代になると、神職演舞禁止令が発せられ、神楽は神職から土地の人々に受け継がれることとなる。神職の手を離れた事により次第に舞は簡略化、改変され、俗的なものとなり乱れていったが、後に事態を危惧した国学者らの手により、明治・昭和と2度の神楽台本の改訂が行われ、乱れた神楽は気品を取り戻し、現代に伝えられる石見神楽の形となる。その後1970年に大阪で開かれた日本万国博覧会での「大蛇」の上演を機に広く国内外に知られることとなった。

石見神楽は大別すると石見神楽の原型と言われる六調子神楽と石見人の気質に合わせ変化したテンポの早い八調子神楽に分けることができるが、その表現は地域によって微妙に異なり、またその変化は石見神楽の伝播の経路と地理的に重なり、各土地毎の神楽の違いを楽しむことができる。

上演される演目については神事的な儀式舞をはじめ、古事記や日本書紀などの神話を題材とした演目を中心に、各地に伝わる民話や伝説を題材とした各団体のオリジナル演目を加えると50を優に超える。また、その中でも、演目「岩戸」として伝えられている、天照大御神の天の岩戸隠れで「あめのうずめのみこと」が舞ったのが神楽の起源とされている。



令和元年度中国ブロック大会江津大会
10月4日・5日開催

その他大会の詳細は右のQRコードよりご覧いただけます。



記事：森山貴紀(平田YEG)

中国ブロックYEG通信

2号

交流のヒント 単会紹介

岡山県連 倉敷YEG

倉敷商工会議所青年部は今年度、安藤順浩会長のもと約200人のメンバーで活動しています。「三知～自己を知り、人を知り、地域を知ろう、全ては郷土の為に～」をスローガンに、全部で9委員会を組織し、政策提言や産学連携、経営力向上などの活動に積極的に取り組んでいます。

中でも、倉敷YEGの活動の柱に位置づけられているのが「高梁川流域倉敷三斎市」の運営です。毎月第三日曜日に倉敷駅前商店街で朝8時から11時まで開催しています。2005年に中心市街地の活性化を目的にスタートし、今年で15年目になる事業です。2016年からは高梁川流域7市3町の魅力をさらに発信するために内容をリニューアルし、流域にちなんだイベントや特産品の販売に力を入れています。

倉敷YEGメンバーは、朝市当日の準備や撤収はもちろんのこと、流域の商工会議所や商工会と連携をとり、細かな打ち合わせを重ねたり、広報活動をしたりしています。会場は毎月約3万人の来場者で賑わい、2018年度に実施した経済調査では約1億円の流域経済効果があることが分かりました。

2021年度は創立25周年を迎える倉敷YEG。今後も更なる飛躍のために邁進していきます。



高梁川流域倉敷三斎市



伊東香織倉敷市長が来場

記事：中山紘行(倉敷YEG)

鳥取県連 米子YEG

米子YEGは昭和54年6月29日に創設され、40周年を迎えた令和元年度は、「一元融合～Creating the future of Yonago～」のスローガンのもと、木村美紀会長を始め現役会員130名、事務局1名、合計131名で始動しました。

「人の集うまちづくり」を基本理念とする当会では、様々な事業を通し地域および社業発展を目的として活動しております。今回は当会の主軸事業を3つご紹介致します。

まずは「提言」です。年度初めにテーマを定め、調査と研究を重ね、行政等に対し提言します。昨年度は新幹線誘致及び東山運動公園周辺の活性化というテーマにて、米子市に提言を致しました。今年度は、海外交流によるビジネスマッチングにも目を向けています。

次に「よなご・マルシェ」です。まちなかの賑わい創出による地域貢献を目的とするマーケットイベントです。昨年度は、約15,000人ももの動員実績を生み出すことができる規模になりました。

最後に「ジュニアエコノミーカレッジ」です。今年度初の取り組みで、小学生が仮想企業を設立し、競い合う実践型人材育成プログラムで、「自ら決めて行動できる人材」の育成を目的としております。

今後とも色々な活動を通して、豊かで住みよい郷土づくりに貢献します。

よなご・マルシェ

米子市長へ
政策提言

記事：尾田政和(鳥取YEG)

編集後記

各YEGの皆様におかれましては、YEG活動を通じて暑い夏には地域の為に各地でご活躍されたこととお察しいたします。今年度がスタートしてもうすぐ折り返し地点、皆様の活動が実り多きものとなりますことを、YEGの仲間としてお祈りしております。

さて第2号も中国ブロックYEG交流委員会広報グループが編集を担当いたしました。中国ブロックYEG会員約3,700名の皆様に

ブロックへ興味を持ってほしい、ブロック内46単会の交流の懸け橋になりたいという思いで制作しております。

最後に、皆様の単会や仲間、県連事業について、中国ブロックの仲間には是非紹介したいというご希望がございましたら、お近くの中国ブロック交流委員会のメンバーまでお知らせください。

